



アクティビティ一覧

アクティビティ一覧 (1994.7~95.6)

7月	* 蒲郡まつりの協力金	50,000円
	* 蒲郡まつり会場にて献眼・献腎登録推進キャンペーンの実施 (献眼登録105名 献腎登録14名 会員15名労力奉仕)	65,860円
	* 蒲郡エリカ号保存会会費(平成6年度分)	10,000円
8月	* 協力金(身障者スポーツ大会・ゆうあいピック・アジア競技大会)	39,200円
	* 蒲郡市制40周年記念子供会スポーツ大会協賛金	50,000円
	* 暴力追放蒲郡市民会議会費	10,000円
	* 蒲郡クリーンキャンペーン協賛竹島海岸周辺清掃(会員85名労力奉仕)	
	* 蒲郡ボーイスカウトへ『ドーム型テント』寄贈	70,040円
9月	* LCIF献金(\$1,000・MJFL永田武満)	98,050円
	* 第6回スナイプ級ヨット世界選手権賛助金	100,000円
	* わかしゃち国体募金	49,000円
	* 不老会蒲郡支部へバスタオル寄贈	66,950円
10月	* 薬害乱用防止サマーキャンペーン 麻薬・覚醒剤・シンナー特別乱用防止愛知大会支援協力金	19,800円
11月	* 第6回市民文化講演会の開催(蒲郡市民会館大ホール) 講師 星野仙一先生 テーマ 『星の数だけ夢をみて』	1,525,864円
12月	* LCIF献金(\$1,000・MJFL鈴木孟)	101,250円
	* LCIF献金(\$1,000・MJFL尾崎保久)	101,250円
1月	* 阪神大震災義援金	500,000円
	* 2RYE委員会会費	206,000円
	* 2R四献推進事業資金分担金(上期分)	49,000円
	* 蒲郡LC主催による『愛蔵品展』協賛	200,000円
2月	* LCIF献金(\$1,000・MJFL石川杉夫)	100,450円
	* 阪神大震災義援金(会員によるボーリング大会収益金)	207,670円
	* 蒲郡海洋少年団助成金	50,000円
	* 蒲郡ボーイスカウト助成金	50,000円
	* 蒲郡ガールスカウト助成金	50,000円
3月	* 高齢者へ『ヒールライト』寄贈	112,500円
	* 第11回全三河中学生柔道蒲郡大会協賛金	50,000円
4月	* 第8回蒲郡俊成祭協賛金	50,000円
	* 蒲郡国際交流協会会費	10,000円
5月	* (社)蒲郡青年会議所主催による『第10回わんぱく相撲』協賛金	30,000円
	* 2R四献推進事業資金分担金(下期分)	51,000円
6月	* 新規学卒就職者激励会協賛金	10,000円
	* 蒲郡エリカ号保存会会費(平成7年度分)	10,000円

特別活動報告

530運動に参加

日時 平成6年8月28日
 場所 竹島海岸周辺
 担当 環境保全公衆安全委員会

愛知県にて開催の、『わかしゃち国体』ヨット競技会場となる大塚海陽ヨットハーバーへ、競技選手や関係者多数の方が来られるこの機会を前に、8月28日(日)の早朝より約2時間、蒲郡のシンボルである竹島海岸周辺の530運動に蒲郡マリンライオンズクラブも参加した。



当クラブの環境保全公衆安全委員長のL石川杉夫より『皆さん、おはようございます。ご苦労さまです。』の挨拶の後、参加者にごみ袋、軍手、タオルが配られ蒲郡の観光地、竹島海岸の美しさを見てもらおうと意気込み、一致団結して清掃作業に取りかかり、額に汗を流して、実に爽やかなアクティビティを行うことができた。

清掃作業の後、竹島橋の入口にて蒲郡市長よりお礼の言葉があり、無事終了した。

(L 伴 正敏記)

第6回市民文化講演会 2500名の市民が入場

日時 平成6年11月2日
 場所 蒲郡市民会館大ホール
 担当 市民教育奉仕委員会



本年度の市民文化講演会は、中日ドラゴンズの前監督、星野仙一氏をお招きして11月2日の夕刻、市民会館大ホールにおいて開催した。

講演に先立ち、蒲郡市長 鈴木克昌氏の歓迎挨拶があり、講演に移った。

野球の監督という仕事は、神経をすり減らし、体をこわす商売です。中日の監督時代、ゲームに勝っている時は、ファンはすごく機嫌が良いが、負けが続き始めるとほ

ろくそでみじめそのもの。阪神ファンもひどいが中日ファンに比べると、まだ思いやりがある。特に中日ファンの情け容赦しない態度にはずい分神経をすり減らした。現役引退後、NHK等にて野球の解説のみでなくスポーツ全般の評論家生活を送っている。

長嶋父子のエピソード、仲の良い田淵幸一、山本浩二らとの家族ぐるみのお付合などの話をおりませ星野流のユーモアに富んだスピーチで満員の会場をわかせた。

(L 大岩敏郎記)

特別活動報告

錦秋の飯田市を訪問
赤石LCと合同例会

日時 平成6年11月9日
場所 飯田市神明閣
担当 計画委員会

11月9日、紅葉の美しい飯田赤石LCとの合同例会を飯田市の神明閣にて開催した。

朝、チャーターしたバスに乗り、晩秋のたたずまいの景色を見ながら飯田市に到着し、リンゴ狩りを楽しんだ。

合同例会では、両クラブの会長挨拶の後飯田赤石ライオンズクラブの事業報告等が行われた。

例会出席100%アワード授与、カモシカ食害防止作業の説明、飯田要訳筆記サークルへの活動資金贈呈、5周年記念式典について答申、チャリティーオークションについて、フィリピン救援物資について、各事業が非常に活発に行われていることに感心した。

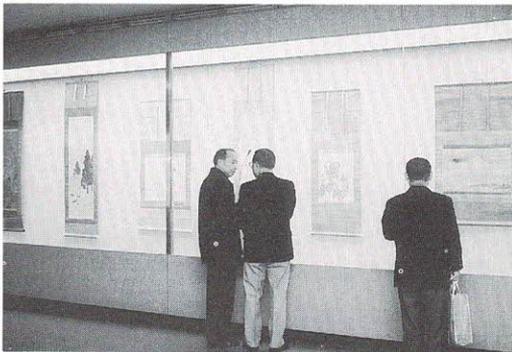
合同例会終了後は、懇親会が催され、飯田赤石LCの担当委員長L原田の開宴の言葉、前会長L滝沢の挨拶、マリンLC会長L永田の乾杯で盛大に開催され時のたつのも忘れた。

(L 大岩敏郎記)



「ライオンズクラブ会員の
愛蔵品展」に協賛
入場者数は2000名をオーバー

日時 平成7年1月13日～22日
場所 蒲郡市博物館
担当 特別委員会



蒲郡市制40周年を記念して蒲郡ライオンズクラブ、蒲郡市、蒲郡市教育委員会が主催し、私たち蒲郡マリンライオンズクラブが協賛した「ライオンズクラブ会員による愛蔵品展」は、市博物館において新春の1月13日にオープンし1月22日をもって終了した。この間、成人の日、日曜日、代休日を含めた3連休もあり、会期中2000名を越す熱心な人々が会場を訪れた。

出品展数は、59件、78点にのぼり、第1、第2の2つの部屋に陳列展示されたが、参観者の中からは・市内にこんなすばらしい貴重な文化財や美術品が所蔵されているとは予想されず驚いた。

- ・ 広く市民に鑑賞のチャンスをつくられたことは、嬉しく感謝したい。
- ・ 重要文化財に指定されている太刀は、どのような事情や経路で愛蔵家の手もとにきたのかを知りたい。
- ・ 愛蔵家の氏名を公表しなかったのは、「個人の自慢展」にならずよかった。
- ・ 会期中の展示物に対する安全対策に関係者は苦勞されたことと思う。
- ・ 今後ともこのような催しを実施してほしい。

以上のような声が聞かれた。

この企画は極めて好評であり、市制40周年にふさわしい記念行事となったが、実施主体の蒲郡ライオンズクラブの努力に対し深甚な敬意と感謝を表したい。

なお、わがマリンライオンズクラブも会員7名が出品提供(両クラブで17名が出展)をし、協賛金(20万円)を寄託したことを付記報告する次第である。

(L 大原義政記)



特別活動報告

阪神大震災に

70万円余の義援金

日時 平成7年1月27日・2月10日

場所 ホテル竹島

担当 大会委員会

平成7年1月17日早朝、神戸を中心に大地震がおき、5,000人を越える多くの尊い人命が失われて、おびただしい数の家屋が倒壊し、自然災害としては、戦後最悪の大惨事となった。この大災害に対し、日本全国で自然発生的に、ボランティア活動、および、義援金集めが始まりました。当クラブとして、1月27日の例会において、会員一人5,000円合計50万円を決定し、これを阪神大震災義援金として、蒲郡市役所を通じ、日本赤十字社へ、また2月10日の例会において、チャリティーボーリング大会を行ない、この収益金の207,670円をキャビネットを通じ、日本ライオンズクラブへ寄託した。なお今回の阪神大震災の義援金の総額は707,670円となった。



(L 市川 拓記)

オイスカ蒲郡支局に

活動資金を贈る

日時 平成7年5月5日

場所 蒲郡市民会館東ホール



非政府団体 (NGO) として国際協力に貢献しているオイスカ産業開発協力団は、2つの事業目的をもっている。1つは森林資源が枯渇している東南アジアの各地域に、現地の小学校の児童たちの協力をえて「子どもの森」を造成し地球環境の緑化をはかることと、もう1つは有能な開発途上国の若者たちに日本あるいは現地のオイスカ研修センターで、農業や工業の技術を学んでもらい、産業技術指導者を養成することである。

平成7年5月5日 (子どもの日)、オイスカの地方組織である蒲郡支局は「子どもの森計画・海外研修生激励蒲郡市民の集い」を市民会館東ホールにおいて開催した。

その際、本クラブより活動資金が永田会長からオイスカ蒲郡支局の鈴木靖夫会長 (L) へ贈られ、300余名の参加者に本クラブやオイスカ蒲郡支局の存在と活動を大きくアピールした。

(L 大原義政記)

1994年 7 月

第129回例会

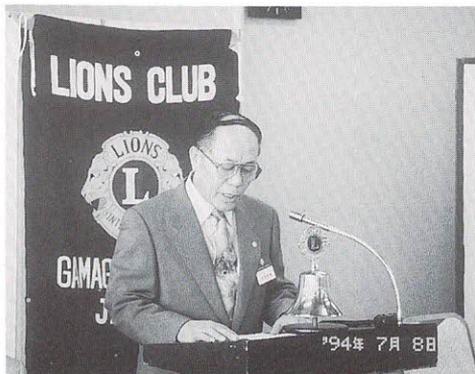
日時 平成6年7月8日(金) 12:15～13:30
場所 蒲郡市民会館

「みんなの和、 奉仕の輪」

新年度最初の例会にあたり、前会長L市川伊嗣より新会長L永田武満に会長バッジ並びに、ゴングの引継ぎがあり、新会長の運営方針について次のような挨拶があった。第1にクラブスローガンについて、「みんなの和、奉仕の輪」。第2に楽しく例会に出席し、自己研鑽に心掛ける。第3にアクティビティは、体に汗した労力奉仕、心のかよう精神奉仕に重点をおき、全員参加で実行してほしい。他のクラブとの合同アクティビティも立案実行し相互の和が広がるようにと念じます。

次に、第1、2、3、副会長の挨拶があり、運営各委員長の紹介があり、前年下期の決算報告、今年上期の予算審議が行われた。

(L 味岡正記)



新会長L.永田のあいさつ

第130回例会

日時 平成6年7月31日(金) 18:00～18:20
場所 ホテル竹島

花火大会を觀賞 飯田赤石LCと夏の家族会

ビジターに飯田赤石LC会長L木下敦詞以下20名を迎え、会長L永田武満は友情の絆をより一層深めたいと挨拶した。

続いて、歓迎のことはを、副会長L井沢敏雄がのべ、訪問のことはが、飯田赤石LC L木下敦詞より、姉妹提携調印以来1年4ヶ月間お互いの熱意により友好の輪が広がりつつあり感謝したいと述べられた。例会終了後ガーデンに場所を移し、バーベキューを楽しみながら歓談した。

本年は天候もよく7時30分夜空に打ち上げられた花火に喝采を送り楽しい夏期家族会を通してしばし夏の夜の風情を満喫した。

(L 味岡正記)



飯田LCを迎えての例会

例会活動報告

1994年 **8** 月

第131回例会

日時 平成6年8月12日(金) 12:15~13:40
 場所 ホテル竹島

新入会員の 3分間スピーチ

前年度入会の新人5名によるスピーチを行った。

L乗松克明 L福井邦夫 L太田忠宏
 L近藤綾子 L小林弘忠

皆さんそれぞれの生活の中から生じた家族、友人、健康、経験、事業経営等、色々の分野の立場から、有意義な話を聞かせてもらうことができた。

メルビンジョンズフェロー盾並びにメタルの贈呈をうけたLは次のとおりである。

L大岩敏郎 L深津六郎 (3回)

(L 伴 正敏記)



スピーチをする新入会員

第132回例会

日時 平成6年8月28日(金) 9:00~10:00
 場所 ホテル竹島

竹島周辺の清掃 530運動に参加

『皆さん、おはようございます』の挨拶の後、“わかしゃち国体”会場周辺と蒲郡のシンボル竹島とに場所を分け、早朝より清掃作業をした。

今日のアクティビティは額に汗を流して実に爽やかであった。

蒲郡ライオンズクラブよりL広浜、L梅村の2Lがビジターとして出席をされ、9月22日の三枝成彰の文化講演会の協力依頼があった。

(L 伴 正敏記)



ゴミ拾いに汗!!



例会活動報告

1994年 9 月

第133回例会

日時 平成6年9月9日(金) 12:15~13:50
場所 ホテル竹島

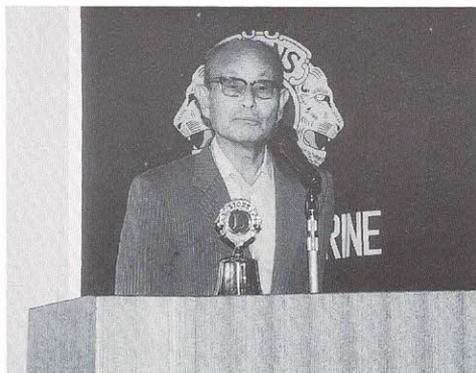
不老会石川精一会長
献体の必要性を強調

会長L永田武満は市民に親しまれている蒲郡音頭と三谷音頭の作曲者が中山晋平であり、最近の旅行で長野県中野市にある中山晋平記念館へ立ち寄り、中山晋平の生涯について、知り得たことを語った。

不老会会長石川精一氏は自分の身体の一部を死後、献体し世の中に役立てる事の重要性を大いに述べられるとともに、愛知県を中心とする活動状況、及び会員の五つのモットー「感謝の心・不老長寿・希望・医学の進歩・平和を願う」について熱弁された。

我がマリンライオンズクラブ会員で不老会未加入者は是非、不老会会員となり、世の中の役に立つよう希望された。

(L 稲葉紀勝記)



献体を熱っぽく語る石川会長

第134回例会

日時 平成6年9月22日(木) 17:30~18:10
場所 西浦温泉銀波荘

RC・ZCのクラブ訪問
蒲郡LCとの合同例会

蒲郡マリンLC会長L永田武満の歓迎のことばに続いて、2R・RCL浅岡範一があいさつに立ち、ガバナー方針として、①にウィサーブ②にライオンイズム③に奉仕の基本的考えを各単一クラブで掘り下げてほしいとの要望があった。次いで、ZC・L高柳正好のあいさつでは当地両クラブの活動に文句なしのおほめの言葉があった。合同例会の後で、PM6:10より懇談会に入り蒲郡LC壁谷会長のウィサーブで開宴となり和気藹々の中で楽しい一時をすごした。

(L 稲葉紀勝記)



あいさつするRC

1994年 **10**月

第135回例会

日時 平成6年10月5日(水) 14:30~15:40
場所 豊川市文化会館

ガバナー松本喜久也を迎えて 2R.2Z合同例会

334-A地区松本ガバナーの公式訪問日に当り、2R.2Zのライオンズクラブが豊川市文化会館にて合同例会を開催した。

ホスト役は豊川ライオンズクラブがつとめ、ガバナーL松本の運営方針を直接ご指導賜り、各クラブは今後の事業活動に積極的に活用し地域社会に密着した奉仕活動に努力する事を誓った。

なお、本年の国際ライオンズ本部の活動テーマは「よりよき世界のために結束」である。

当日の蒲郡マリンライオンズクラブの出席率は79.2%でした。

(L 鈴木正己記)

第136回例会

日時 平成6年10月28日(金) 12:15~13:30
場所 ホテル竹島

腎臓のドナー登録と 優しい心で献血を

会長L永田は、自己の健康管理は重要問題、自分の健康管理は自分しか出来ない、お互いに健康には注意しようと挨拶した。

飯田赤石LC合同例会の打合せ、四献運動を兼ねチャリティバザー開催のための販売物品の協力要請をした。

腎臓移植体験者福井啓二氏のスピーチの後、献血ビデオ「優しい心で献血」を鑑賞した。

移植体験スピーチ、献血ビデオ鑑賞などから当クラブの基本奉仕活動である四献運動を、地域社会の人々に理解していただくよう努力すべきことを痛感した次第である。

(L 鈴木正己記)



ガバナー方針を説明するL.松本



移植体験を語る福井さん

1994年 11月

第137回例会

日時 平成6年11月2日(水)12:15～13:30
場所 蒲郡市民会館

星野氏のユーモアに沸いた
第6回市民文化講演会

11月度第1例会は、マリンライオンズクラブ主催の第6回市民文化講演会を実施した。蒲郡市の市制40周年記念事業に協賛して、鈴木克昌蒲郡市長の歓迎挨拶後、中日ドラゴンズ、前監督星野仙一氏の講演を聴いた。

星野仙一氏流のユーモアに富んだスピーチで満員の市民会館をわかせた。

(L 大岩敏郎記)



星野仙一氏 大いに語る

第138回例会

日時 平成6年11月9日(水)12:15～13:30
場所 飯田市神明閣

りんご狩りと
合同例会を楽しむ

11月度第2例会は、飯田赤石LCとの合同例会を飯田市の神明閣で開催した。マリンLCのメンバーはチャーターしたバスで晩秋のたたずまいの景色を見ながら飯田市に到着。途中、蒲郡では味わえないリンゴの味を満喫した。

合同例会では、飯田赤石LCの盛んな事業活動に感心した。例会終了後、懇親会が赤石LCの厚意で催され楽しい一時を過ごした。また会う日を楽しみに願いつつ蒲郡マリンLCのメンバーは帰路に向かった。

(L 大岩敏郎記)



合唱する両クラブメンバー

1994年 12月

第139回例会

日時 平成6年12月9日(金) 12:15~13:30
場所 ホテル竹島

地区指導力育成委員長
L柴田勲がスピーチ

会長永田武満Lより師走の忙しく慌しい時であります。健康に十分留意され年末年始を迎えて戴きたいと挨拶の後、二人の来賓334-A地区キャビネット指導力育成委員長柴田勲L、334A地区ガバナー松本喜久也Lの紹介をされた。

L柴田勲はスピーチの中でよりよい奉仕はよりよいクラブから生れ、よりよいクラブはよりよいメンバーによって構成される。もっとも根本的な問題はいかにしてよりよいメンバーたらしめるかに尽きる。例会を楽しくしマンネリ化、派閥化を防ぎメンバー一人一人が発言し連帯感をもってクラブ運営にあたる事が大切であるとの内容であった。

L松本喜久也は東洋フォーラムでの訪問先バンコクの紹介と挨拶をされた。

(L 伴 伸司記)



指導力を説くL柴田

第140回例会

日時 平成6年12月23日(金) 17:30~18:00
場所 ひがきホテル

趣向をこらしたアトラクション
楽しいクリスマス家族会

会長挨拶の中で「衣食足りて礼節を知る」、人は生活が豊かになって、初めて道徳心が高まり、礼儀を重んじる様になる、と昔からいわれているが、現代の世相はどこまでも欲望を追求するようである。正月を迎えるにあたり人生を振り返って見たい。

この日、PR委員長L鈴木良朗が長引く身体の不調のため退会される。

例会終了後クリスマス家族会に移り家族とともにカラオケ等楽しい一時を過ごした。

(L 伴 伸司記)



勢揃いした計画委員会メンバー

例会活動報告

1995年 1 月

第141回例会

日時 平成7年1月13日(金) 12:30~13:30
場所 蒲郡市民会館

新年のご祈祷と
とし男によるスピーチ

例会に先だって新年恒例のご祈祷が市民会館の神前で行われた。

会長挨拶は、会員の上期アクティビティへの協力に対するお礼と、下期も理事会メンバーと共に全力投球するとの抱負が語られた。また、マーフィーの法則についての事例をあげ、ザ・ライオン募集のライオンのマーフィーの法則への応募を促した。

とし男のスピーチは、L野田孝道が親子三代の他外孫二人も亥年と猪一家との話、L木村利男はアメリカ旅行を通して日本の生活を見直した話、L夏目勝美は仕事一筋で来たが、家族にも心配りが必要な年令になった。健康に注意し息切れしないようにやっていくとの抱負がそれぞれ語られた。

(L 近藤綾子記)



神前でのメンバー

第142回例会

日時 平成7年1月27日(金) 12:15~13:30
場所 ホテル竹島

阪神大震災への献金と
交通安全ヒールライトの贈呈

阪神大震災後初めての例会ということで会長挨拶もまず、犠牲者の方々の冥福と被災地の1日も早い復興を祈る言葉で始った。当マリオンズクラブでも本例会終了後義援金を集め今日中にも送金手続きをしたいとのこと。他にもキャビネットからの要請があり、アクティビティとして取り上げることへの理解が求められた。

続いてマリオンズクラブより、交通安全に役立てるようヒールライト1,500個の贈呈が行われ、蒲郡警察署夏目交通課長に渡された。

ゲストスピーカーは夏目交通課長で、高令者の交通事故について話があり、ヒールライトで大きな安全を狙いたいと、お礼が述べられた。

(L 近藤綾子記)



お礼を述べる夏目交通課長

1995年 **2** 月

第143回例会

日時 平成7年2月10日(金) 12:15~13:30
場所 ホテル竹島

阪神大震災チャリティー ボーリング大会

阪神大震災から25日が経ったが、未だに寒空にさらされている多くの人々がおられる。会長の挨拶は息子さんの現地でのボランティア活動のお話。

TV、ラジオでは伝わらない情報は、食事も喉を通らないほどの、臭いと。長期に亘る活動のため、被災者のみならずボランティアの人々の疲労も大きくなっているが、子供達の笑顔が戻って来たり、人情味あふれた現地の雰囲気の良い勉強になった事など現地でしかわからない体験談。

例会終了後、竹島ボーリングレーンにおいて、阪神大震災チャリティーボーリング大会が参加者45名のもと盛大に行われた。

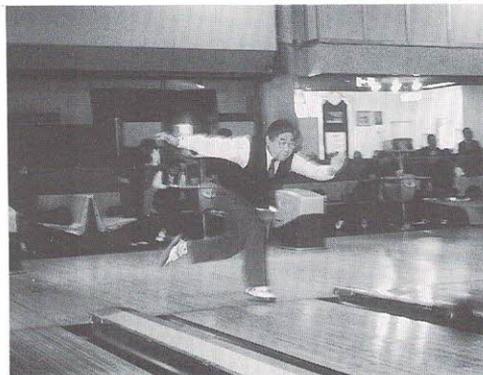
チャリティー総額 207,670円

優勝 L野田孝道 スコアー 184

準優勝 L小田二郎 スコアー 173

第3位 L鈴木伸明 スコアー 173

(L 市川 拓記)



ボーリングを楽しむメンバー

第144回例会

日時 平成7年2月24日(金) 12:15~13:30
場所 ホテル竹島

終身会員証およびメルビン・ ジョーンズ・フェロー盾の贈呈

LCIF1,000ドル献金に4名の献金者があり、当クラブとして面目を保ったが、その中でこの度の阪神大震災へは、5万ドルしか給付されず、今後のLCIFの配布に問題を残したと会長の挨拶。

当クラブの6回目の創立記念日にL水藤勇に、国際理事より終身会員の資格を承認される。また、メルビン・ジョーンズ・フェローの盾及びメダルを以下の3名に贈呈。

L永田武満 L鈴木 孟 L尾崎保久
スピーチは、L水藤勇の終身会員承認の挨拶の中で、先輩として一言。遊べるうちに遊べ。

L市川直の創立当時の苦労話。6年目を迎え、移籍会員よりも新会員の方がはるかに多くなった今、新しいクラブと新しい人材のもとに当クラブを運営するのが自然の姿と強調される。

L鈴木孟からLCIFにもっと協力をとの要請があった。(L 市川 拓記)



L水藤は語る 遊べるうちに遊べ

例会活動報告

1995年 **3** 月

第145回例会

日時 平成7年3月1日(金) 12:15~13:30
場所 ホテル竹島

次期会長に

L井澤敏雄を指名

指名委員長L市川伊嗣より次期役員の発表があった。スピーチではL竹内健の「アメリカズカップ」セミファイナル進出までの苦労話と今後の活躍への期待を力強く話す。

指名された次期役員は次の通りです。

会長	井澤敏雄	二年理事	岡田光男
前会長	永田武満	"	夏目勝美
第一副会長	山本 孝	"	小田昭男
第二副会長	中瀬充二	"	徳永由也
第三副会長	近藤 宏	"	山本四十三
幹事	大岩敏郎	一年理事	水野雄二
会計	吉見敏春	"	山口 正
ライオンテーマー	稲葉紀勝	"	鈴木 孟
テルツィスター	松井一夫	"	味岡 正
会員理事	市川伊嗣	"	夏目憲行
		"	山田金弥

副幹事 尾崎保久

副会計 鳥居憲臣

副ライオンテーマー 伴 正敏

副テルツィスター 尾崎勝美

2R・YE副委員 平野 優

(L 夏目勝美記)



アメリカズカップを語るL竹内

第146回例会

日時 平成7年3月24日(金) 12:15~13:30
場所 ホテル竹島

選挙例会無事終了

第三副会長L榎本尚史の上海展示会視察旅行で感じた中国人の人間性と商売に対する熱心さの話の後、指名委員長L市川伊嗣より立候補者の届出が無いため次期役員が決定したむねの報告がされる。

ゲストに蒲郡市民病院第一外科部長竹内元一先生を迎え「ガンの早期発見、早期治療」について、ガンは早く見つければ治る病気であるが症状が現れないので発見しにくい。自分の体は自分で責任をもって少しでもおかしいと思ったら精密検査を受けるのが基本であるとのこと。また、トライアスロン競技の歴史や今年の7月9日に蒲郡競艇場を中心にワールドカップ大会が開催されることを話された。

(L 夏目勝美記)



ガンの話をされる竹内先生

1995年 **4** 月

第147回例会

日時 平成7年4月14日(金) 12:15~13:30
場所 ホテル竹島

優しさと勇気と 思いやりのある福祉

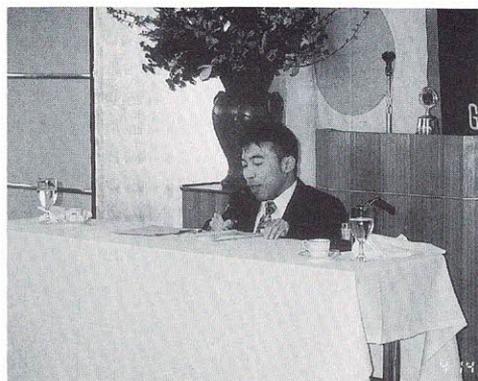
会長挨拶は、政府日銀の対応の遅れによる世界中のマネーゲームに拍車をかけ円高で80円を割る現在のことと、趣味がらみのコンピュータについて話した。

ゲストスピーカーは、2才の時に突発性筋ジストロフィを発病した、金子哲三氏23才であった。6才の時から車椅子生活をしていて保育園、小学校への通学時の苦労話をされ、その時の友は現在でもボランティア活動を一緒にしている。色々な障害を持った人の立場から協力を願う話しもされた。優しさと勇気と思いやりのある福祉が出来る街にして下さいと話しを結ばれた。

入会式、岩田松義氏（NTT蒲郡営業所所長）が入会した。趣味は溪流釣り、よろしくとのことであった。

メルビン・ジョーンズ・フェロー盾及びメタルの贈呈が、L石川杉夫になされた。

(L 吉見重夫記)



障害者に協力を呼びかける金子さん

第148回例会

日時 平成7年4月21日(金) 17:30~18:45
場所 三谷温泉 平野屋

蒲郡LC、蒲郡MLC合同例会 ZC挨拶「自然を守ろう」

蒲郡LC会長L壁谷良幸の会長挨拶から始まり、続いてビジターの紹介があり、2R2ZZCL高柳正好 2R2ZZCAL清水石根が紹介され、ZC挨拶でL高柳正好は日頃2R2Zのクラブ運営に関して、多くのアクティビティを通して協力への感謝と、2ゾーンのすばらしい自然を目前にして、ライオンズクラブで自然を守ろうという認識を再度確認した思いがすることを話された。

懇親会はMLC幹事L加藤寿則の司会で進み、MLC会長L永田武満のウィサープで開会をし、互いの親睦を深めた。

(L 吉見重夫記)



あいさつするZC

例会活動報告

1995年 **5** 月

第149回例会

日時 平成7年5月12日(金) 12:15~13:30
会場 ホテル竹島

歴代会長による
有意義なスピーチ

L永田武満の会長挨拶では、壇上で賞を受け取った時の感激の様子について話があった。また、一度は退会を表明したL近藤綾子が、再び当ライオンズクラブに戻ってきてくれたことに対して、以前と変わらず当クラブのメンバーであることの報告がなされた。

シェブロンへの贈呈

25年:L高須惣士、L森桂吾、15年:L野田孝道、L石川杉夫、10年:L吉見敏春。おめでとうございます。

スピーチは、初代会長L鈴木靖夫、二代会長L鈴木敏允、三代会長L森桂吾であった。

それぞれに、ライオンズマンとしての規約、夢を具現化するにはどうしたらよいか、当ライオンズクラブ設立当初の平成の世の中はどのようなものであったのか、等についての話があった。

(L小田倉平)



初代会長のスピーチ

第150回例会

日時 平成7年5月26日(金) 12:15~13:30
会場 ホテル竹島

LC国際協会本部訪問で
バナーを譲渡

L永田武満の会長挨拶では、姉妹クラブの飯田赤石ライオンズクラブが、地区年次大会において7部門にわたり表彰、受賞をしたとの話があった。また、5周年記念の式典が11月8日に行われるとのことで、当クラブからの出席を期待しているとのこと。

シェブロンへの贈呈

20年:L小田多良、15年:L市川伊嗣、10年:中瀬充二、L鈴木修身、L近藤広、L榎本尚史。おめでとうございます。

ライオンズクラブ国際協会本部訪問の報告が、L味岡正よりあった。当クラブのバナーを渡した。とても有意義な時を過ごしたとの話があった。

スピーチは、2R、PR委員L大原義政であった。『RPR委員として思うこと』というテーマについて、さまざまな視点から話がなされた。

(L 小田倉平)



スピーチをするL大原

例会活動報告

1995年 6月

第151回例会

日時 平成7年6月9日(金) 12:15~13:30
会場 形原温泉補陀寺

アジサイ園の清掃と散策

前日は雨。しかし、当日はカラッとした日本晴。会員各位の心がけの良さが天候にあらわれた。例会前約30分かけて蒲郡形原温泉アジサイ園付近の空き缶、タバコの吸いながら、ゴミ等を拾い環境美化活動を実施する。ただし、アジサイの花は多少時期尚早ではあったが、屋外での昼食は、久しぶりの遠足気分。例会では補陀寺住職のマナー等についてのありがたい法話があった。

(L平野優記)

第152回例会

日時 平成7年6月25日(日) 17:00
会場：浜名湖ホテル九重

新旧役員交代出張例会

本年度最後の例会ということで、恒例になった現地集合、現地解散の出張例会を浜名湖ホテル九重で開催した。例会の中で1ヶ年皆勤者にアワードと記念品が贈呈された。受賞者はここ2年間に比べて若干少なめであった。

退任の挨拶では会長L永田武満、2RP R委員L大原義政、幹事L加藤寿則、会計L鈴木修身の大役を終えた晴々とした挨拶につづき、次期会長L井澤敏雄、2RYE副委員L平野優、幹事L大岩敏郎、会計L吉見敏春、各ライオンの抱負が語られた。

続いての新旧役員歓送迎会はL山本四十三の司会により、大懇親会が賑やかに開催された。

(L平野優記)



補陀寺住職の法話



1年皆勤賞を受ける会員達。

趣味部会活動報告

〈ゴルフ部会〉

和気あいあいのゴルフクラブ

部会員数60名、クラブ内でも最大の会員数を誇り、月1回近隣のゴルフ場でプレーを楽しんでいる。また、アフターゴルフでは会員相互の親睦を深めている。ゴルフの上手な人、上手でない人でも是非参加して、例会では見られない人間性に触れるのも、今後クラブの活動上重要ではないかと思う。

すばらしい景色の中でのプレー程、日頃の雑念を振り払ってくれ翌朝からの仕事もスムーズに行き、決まりそうでない商談もスナナリ決まってしまうような気がする。

(L 夏目憲行記)



〈放談部会〉

多彩なプログラムで歓談

回	月日	出席者	場所	テーマ	スピーカー
1	7.14	25	会議所	年間行事検討会	
2	8.29	22	〃	市の建設予定計画	L竹内 健
3	9.20	16	プリンスホテル	観月会	
4	10.22	16	ふきぬき	三谷祭(くろごま)	
5	11.14	17	会議所	南アフリカー人旅	大場達也
6	1.15	15	そば福	新年会	
7	2.21	17	会議所	建築と地震	L夏目憲行
8	4.5	24	吉光会館	観桜会	



昨年の観月会(プリンスホテル)は絶好の晴天に恵まれ大変美しい満月を見ることが出来た。

(L 小田二郎記)

〈麻雀部会〉

人物はA級、腕はC級か？

麻雀部会は例年の蒲郡LC、蒲郡JC、蒲郡MLCの合同麻雀大会を西浦温泉富士見荘で行った。その節は関係各位に大変なお世話になったが、マリンLCのメンバーは仲々の力量で優秀な成績を納める事が出来た。4月25日には豊川LCのお世話でZZのチャリティ麻雀大会が場所ウエディングスクエア・プリエールで開催され6名が出席した。特に本クラブのメンバーから選抜した最強のチームと思ったが、成績は団体戦はもの見事に最下位であった。全員トータル赤字でしたが、なぜか飛賞には当たるといふ運にめぐまれた。このように楽しく遊べるクラブに今後ともしていきたいと思っている。

(L 鈴木利夫記)



〈パソコン部会〉

習うより慣れろのパソコン

パソコン部会は、現在、月に一度、商工会議所に集まり、各自のノートパソコンを持ちより「一太郎」「ロータス123」等のソフトで文章を作成したり表を作成したりしている。

毎月のテーマは、一応あるが、それを題材に各自マイペースで作表等していく。従って途中でわからなくなった場合は、隣りの人に聞いて次に進んで行くという方式である。



パソコンは習うより慣れろという感じがする。月に1度でもパソコンをたたいてみると進歩があると思う。

そんなことを思っている人が集まっており、現在、パソコン部会に入っていない人でも自由に参加してほしいと願っている。

数年前に比べ、パソコン関係の価格も相当下がりがり、操作も一段と楽になってきた。次年度は今年度以上の参加者を希望している。

(L 大岩敏郎記)

〈囲碁部会〉

頭の体操に囲碁を始めませんか？

囲碁は、約3千年前中国で発生したといわれる。わが国に伝わったのは奈良時代で、平安時代にはもっぱら貴族の間で行われたが、戦国時代になると武士階級に広まり大衆化してきた。とくに、江戸時代には、將軍家の保護下に四つの家元ができ、隆盛をきわめたという。相手を包圍して領地を作っていくというゲームが武士の間でウケたと思われる。

事業戦略、また、頭の体操に囲碁をはじめませんか、現在は

L 永田 武満

L 平野小弥太

L 稲葉 紀勝

L 鈴木 孟

L 福井 邦夫

のメンバーで活動している。

(L 福井邦夫記)



〈つり部会〉

釣って料理して満足

L宮下が亡くなって、2年余り部会を中止していたが、8月21日(日)、L福沢夫婦、L石田、L鳥居、L井澤と友人らで、まだあけきらぬ幡豆港を出港。暑い最中でも、さすがに早朝5時、肌を吹きぬける風はさわやか、10分程で二隻の漁船は目的地猿ヶ島沖に到着。船を固定するや否や餌をつけて投入、黒鯛よ来い来いと全員がんばるも、地主のL鳥居のみ3枚(25~30cm)が釣れ、船頭さんも職人よろしく釣りあげ、他のメンバーは10cm位のザコばかり。それでも久々の



の友好を暖めた後納竿、帰途幡豆の料理屋さんで釣った魚を料理していただき、飲んだビールのうまかった事。また、刺身の新鮮さは云うまでもない。皆さんにも食べてもらいたかった程です。次年度はクラブ員にならなくてもオープン参加で、オゾンを充分吸って、ストレスを解消して人生を永生きしていただく為にも参加して下さい。

(L 井澤敏雄記)



去勢された亭主、
居直り女房、
勝手な子供

L 森 桂 吾

怖いものの順番が昔は地震、雷、火事、親父で、親父は地震や雷と肩を並べてベストテンの4位にランクされ、亭主関白が多かった。関白は平安以降、天皇を除いて最高の地位で、家の中で絶対の権威を持っていると言う例えだが、その権威も失墮し「ニガリのきかない豆腐」等と言われ、ある保険会社のアンケートによると親父の支持率は3%で、且ての4位が30番以内にも入っておらず、昔の亭主は帰ってくると、新聞を読んでいるか、風呂に入るか、ともかくタテの物をヨコにもしなかった。「親父は偉いんだ」と言う原則が家族中にいきわたっていた。また、「男子厨房に入るべからず」でへたに入ると、ゴキブリ亭主などと言われたが、女房の権利、妻権が強くなったのには男女平等化、そして、家族の形態が核家族に変わった事が主な原因で、戦前は大家族であったので夫婦が不在でも、家事や子供の面倒も心配なかった。核家族になるとそんな人手はない。それでも新婚ホヤホヤのうちは亭主も手伝うが、新婚ムードもうすれてくると、ヨソの花の美しさに魅かれ出すのも此の頃からで、夫婦ゲンカも始まり大抵はこのあたりで子供が生まれ、離婚の危機は一応回避されるが、子供の数もキツネは4匹、タヌキは6匹、数がそれ以下だと親が過保護になってたくましい子に育たないと言われているが、どの家庭でも1人か2人で、その上冷暖房完備で暑さ寒さにチャレンジする機会はなく、父親は叱ったり殴ったりせず、教師も体罰として殴るものなら暴力教師と称されつきあげをくう。みんなやさしいもの分かりいい人ばかり、その代わり子供が「いじめ」と称して暴力をふるう様になり、また家庭内でもすべての事が子供が優先する。部屋の事でも子供には例外なく部屋が与えられ、従って亭主の座は物理的に狭められて、シワ寄せの犠牲は亭主で、関白の座どころか、座る椅子さえままならず、居を失った亭主は新聞を読むにもトイレにでもこもって読むしまつ。女は弱し、されど母は強しと言われたのは昔のことで、今は男は強し、されど亭主は弱しで、弱き者よ汝の名は女なりと行ったのはシェクスピアだが、今の女にそんな事を言ったら笑われるだろう。

子供が生まれ最初に出会う教師は母親であり、また女性が母になることはやさしいが母たる事は格別むづかしいと言われておる。(山本有三) さらに、女性は夫を作る天才でなければならぬとも言われている。(バルザック)